



AAI NEWS

アジア・アフリカ リサーチ & コンサルティング インベストメント

2016年度 JICA 中小企業海外展開支援事業をサポート！

JICA 中小企業海外展開支援事業において、AAI サポートによる遮熱塗料を活用した電力量およびCO₂削減に係る基礎調査の採択の実績からインドネシア事業のコンサルタント依頼が増加し、9月5日の第2回公示も案件化調査と基礎調査についてそれぞれ1件に絞り込み、申請した。

《案件化調査》

インドネシアは世界一のパーム油産出国で126百万トン/年という大量のパーム油を生産しているが、同時に空果房(EFB)が大量のゴミとしてそのまま廃棄され、工場の傍らに野積みになっている。

今回提案した案件化調査では、この EFB からカリウム・塩素が除去された、石炭同等のカロリーと硬度を有するバイオ石炭を低コストで生産し、石炭と混焼できる燃料として有効活用することを調査して確認する。

AAI は、この技術を持つ企業をサポートし、パートナー協定を結んだ現地政府機関や現地企業へのアテンドなどインドネシアでの具体的な調査や事業化を共同で行う。

大量に発生する EFB の廃棄物を半炭化物に加工し、石炭火力発電所の混焼燃料とすることで CO₂ 削減になり、ゴミ処理問題の解決にも貢献できる。

調査後はカリマンタン島にあるクタイ県の県営パーム椰子工場での実証を想定しており、JICA の ODA 事業化への発展が期待されている。



野積みされた EFB



廃棄された EFB

《基礎調査》

インドネシアにおいてもバイクや自動車の排気ガスによる大気汚染が問題となっている。特にジャカルタ等の人口が集中した都市部で深刻化しており、一般国民が使うガソリンの品質が低いことが、大気中へより多くの有害排気物質を発生させる要因と考えられている。

今回の調査では、燃料の完全燃焼を促進させることにより有害排気物質を低減できる燃料添加剤を活用した大気汚染対策を提案し、数千台のトラックが黒煙を撒き散らして走る国営セメント工場においてその性能テストを行う。

ガソリンを供給する国営企業はインドネシア大学との共同研究でガソリン用添加剤の開発を始めるとの情報を得ている。この調査においてもカウンターパートとしてインドネシア大学が加わっており、製品の性能が認められれば、この添加剤が入ったガソリンが国中で使われることが期待できる。



ジャカルタの交通状態

【お問い合わせ】

AAI 株式会社 (アジア・アフリカ リサーチ&コンサルティング インベストメント)

〒830-0018 福岡県久留米市通町 6-23 栄電舎ビル 2F

URL : <http://www.aai-jp.com>

TEL : 0942-39-8780

FAX : 0942-65-8857

担当者 : 中村 廣秀, 村田 清一郎

E-mail : info@aai-jp.com